

学生による授業評価アンケート 2006 年前期結果(栗山担当科目)

栗山浩一

表1 評価結果一覧

		全学 平均	環境 経済学	計量分析 03	計量分析 04	国際政治 経済研究
	履修者数		376	40	67	44
	回答者数		18	4	3	3
1	予習・復習を含め自分はこの授業に熱心に取り組んだ	3.5	3.7	4.3	4.0	4.7
2	科目登録時にシラバスが役立った	3.4	3.7	3.5	4.0	3.7
3	内容がわかりやすい授業であった	3.7	4.6	3.5	5.0	4.7
4	教員が熱心であった	4.0	4.6	3.8	5.0	5.0
5	この分野への学習意欲がわいた	3.7	4.2	3.8	5.0	4.7
6	授業環境が適切であった	3.6	3.7	3.8	5.0	4.7
7	総合的によい授業だった	3.8	4.6	3.5	4.7	4.5

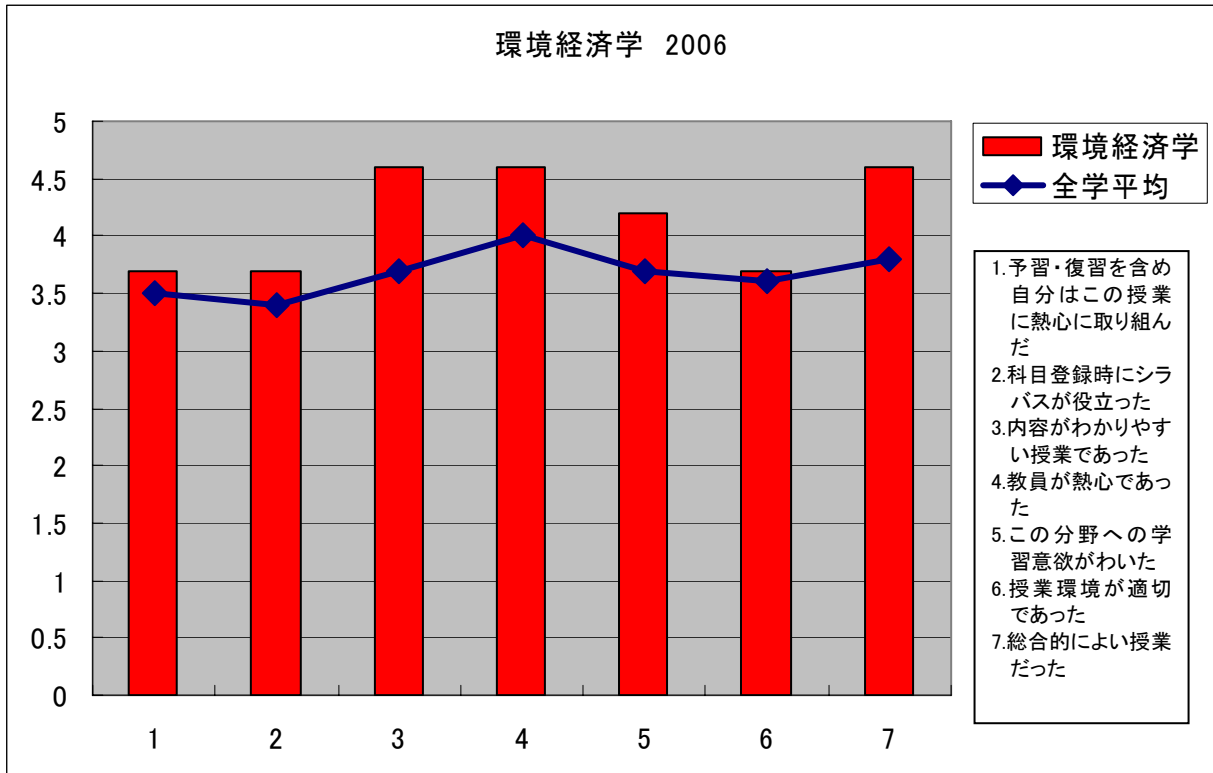
注：点数は5点満点、「全学平均」大学全体の平均値

- ・ 今回は回答率がすべて1割以下と例年よりも低く、評価結果の信頼性はあまり高いとはいえない(昨年度前期の回答率は2割前後)。
- ・ 「7.総合評価」は計量分析03が全学平均よりも低い。それ以外は例年とほぼ同じ水準。
- ・ 回答率はWeb回答になってから低い状態が続いているが、特に今回は低かった。次回からは回答者への加点措置を考慮しようと思う。
- ・ 環境経済学では、授業の最終回に紙でアンケートを実施したが、そのときにWeb回答と同じ設問（「総合的によい授業だった」を5点満点で評価）を実施した。その結果は以下のとおりであった。紙の回答率が約半分なのに対してWeb回答はわずか5%。ただし、総合評価の点数はほとんど同じであった。

表2 環境経済学 紙とWebの比較

	紙	Web
履修者数	376	376
回答者数	190	18
回答率	51%	5%
総合評価	4.4	4.6

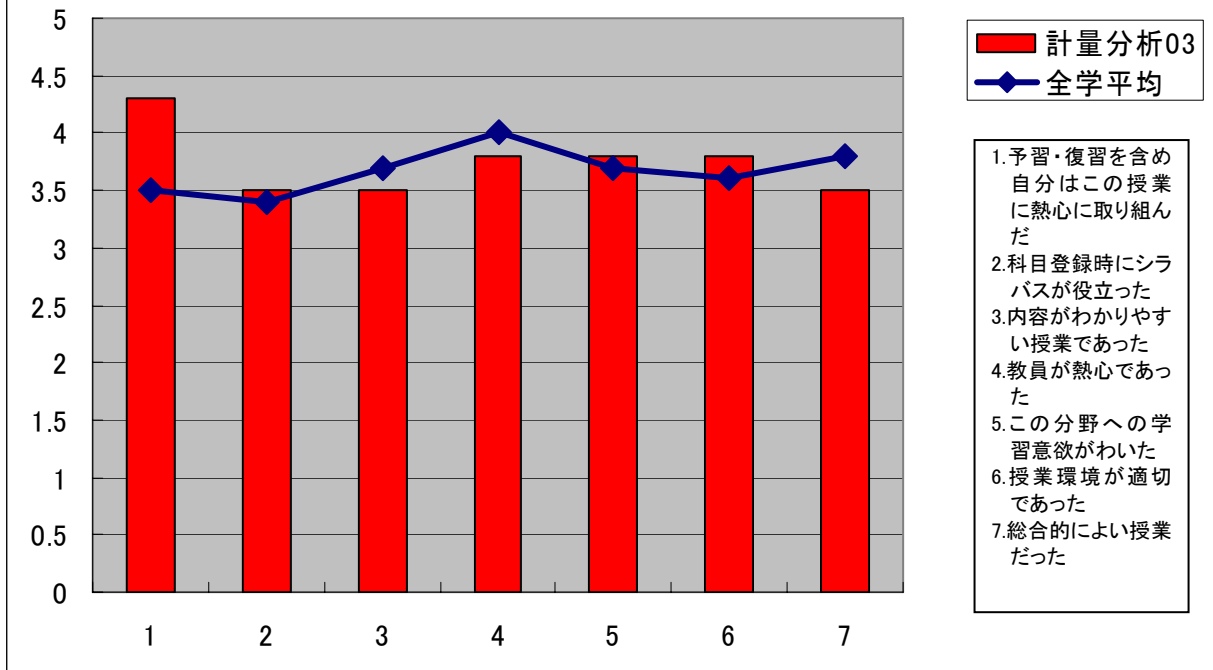
授業評価 グラフ



自由記入欄

- 遠くからだ、黒板が読みにくい。
- 1コマの使い方がとても良かった。
- ただ履修生徒数が300人位なため問題もある。US では50人規模のクラスでも大クラスとみなされ、講義の主役であるディスカッションに多少の支障が出る。
- 故に、今講義でも生徒数を限定し、議論できる場を設けるのも新たなアプローチであると思う。
- 映像資料が多く、レジユメの内容もわかりやすく、とても面白い授業でした。
- この分野への興味が高まりました。
- 毎回本当に楽しかったです！
- すごくわかりやすく、身近な題材を使用しており楽しめた。もう少し参加型の授業もあと数回やってみたかった。
- テスト難しすぎ。
- 先生はとても熱心で、様々な角度から物事を分析して教えてくださるので、非常にわかりやすい授業でした。大人数でなければ、提出課題の返却ができて、より良かったと思います。
- とてもわかりやすいし参考になりました。
- 教室の電気等の環境についてはもう少し改善の余地があっても良かった。

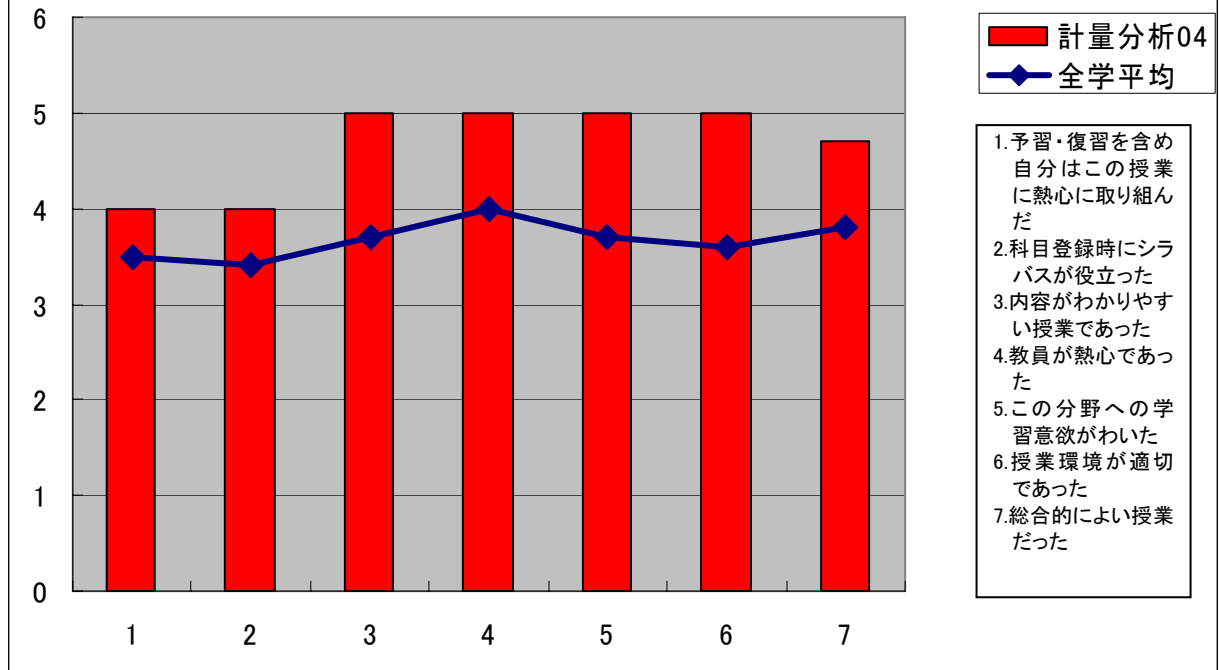
計量分析(03)2006



自由記入欄

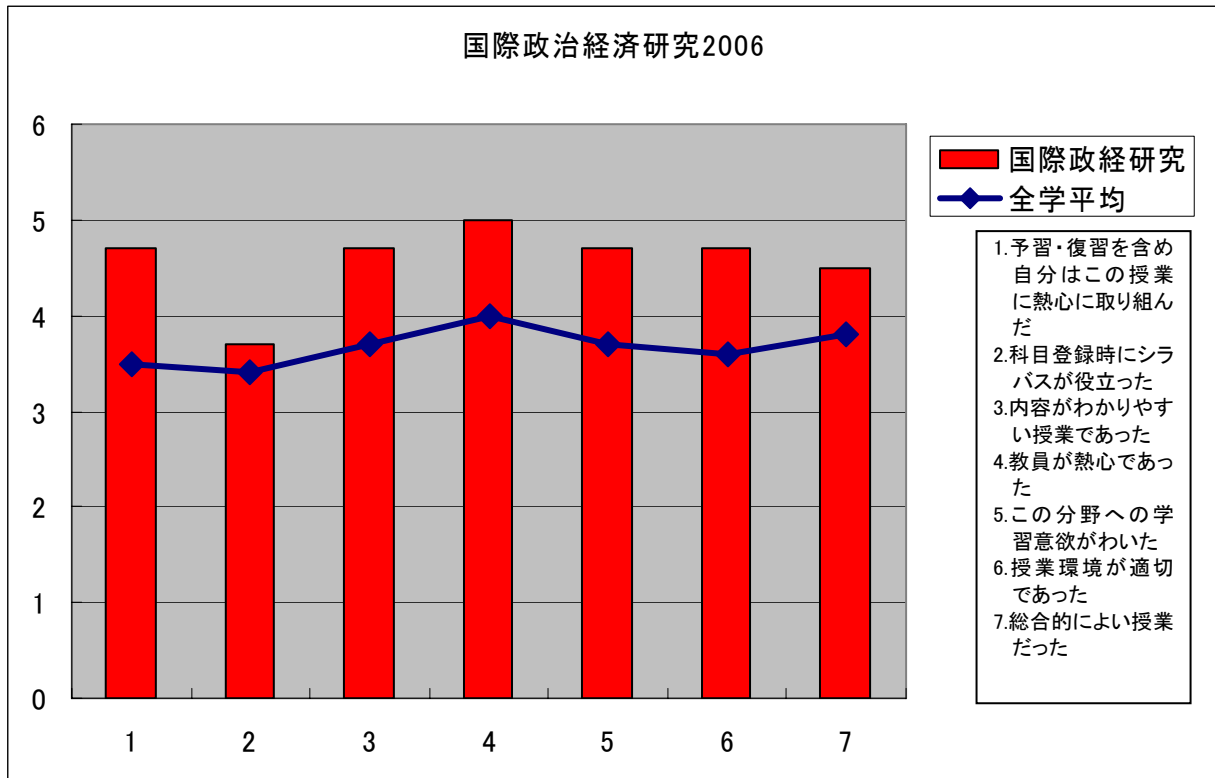
- 授業は先生の言うことについていくので精一杯だったので、後からの復習がやりにくかったです。ですので、最後の一回は復習に使うなどの配慮がほしかったです。
- よくわかりました。
- 授業スピードがはやいと思った。

計量分析(04)2006



自由記入欄

- テスト難しすぎ。



自由記入欄

- これだけしっかりパソコンの指導をしてくれる授業はMNCまで行かないとないと思ってました。
- 本当にいい授業でした。今まででいちばん身についた知識が多い授業だと思います。先生ありがとうございます。